

世界は、自分たちの手で変えることができる。

自立 共生 未来志向

札幌市立宮の森中学校

Miyanomori Junior High School

2026 年度・学校案内

教育目標

自立
自ら立ち

共生
ともに生きることを学び

未来志向
明日を志す生徒

知	_____	創りだす知性をもつ
情	_____	思いやりの心をもつ
意	_____	学ぶ意欲をもつ
体	_____	逞しい体をもつ

宮の森中の目指す生徒像

世界は、自分たちの手で変えることができる。

- | | |
|------|-----------------------------------|
| 主体性 | ●自分自身の考えをもち、判断や行動の自己決定をする |
| | ●自分自身で目標を設定し、自己実現に向けて行動する |
| つながり | ●過去の自分から目的や価値観を再確認し、未来の自分へつなげる |
| | ●自分の幸せや興味・関心、好奇心に素直に向き合い大切にする |
| 挑 战 | ●感情をコントロールし、言葉による心の通った意思疎通をする |
| | ●社会や信頼できる知識・情報と適切につながり、有効に活用する |
| | ●挑戦が自己の成長につながる可能性を秘めていることを理解する |
| | ●多様な他者の立場で物事を考え、挑戦する他者の勇気を前向きに支える |
| | ●建設的な行動や主張をもとに、周囲の課題をより良く解決する |

自分で考え つながり 挑戦する そして、世界を変える

未来は自分で創る。世界は変えられる。

子どもたちがそう実感できるような学びを進めるのが、「令和の宮の森型教育」です。

現在、宮中では、子どもたちの「今」も「未来」も幸せにと、様々な改革を進めています。

土台となるのは、誰一人取り残さず、多様な子どもたちが安心・安全に学ぶ学校づくり。

キーワードは、多様性の尊重。

改革を進めるのは、DX(デジタルトランスフォーメーション)の時代や Society(ソサイエティ)5.0 などと言われる中、これまでと社会や産業の構造が変わり、子どもたちが社会で求められる力、思考・発想も変化しつつあるからです。

保護者・地域の皆様とともに、「多くの仲間と対話して、助け合いながらともに学ぶ学校」の実現を目指し、校区小学校と全力で取り組んでまいります。



校長 井上 博文

宮中生徒 5 つの学びの姿

1. ユニットや異学年交流での学び合いによる「相互啓発と相互承認のある学び」
2. 誰もが安心な環境で、失敗体験が次の挑戦につながる「肯定的な学び」
3. 価値ある課題の継続的な探究に支えられた「深みのある学び」
4. 「わかる楽しさ」「できる喜び」「創り出す面白さ」のある学び
5. 評価活動と自己調整のサイクルに支えられた「成長の実感のある学び」

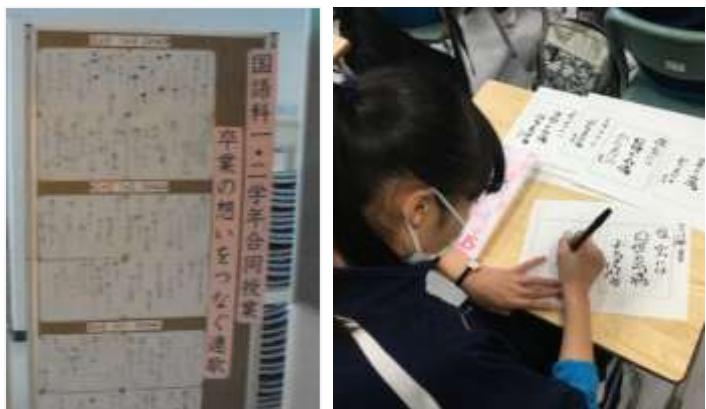


異学年交流

▶陸上競技会合同練習 [体育科] (1・3年)



▶想いをつなぐ連歌 [国語科] (1・2年)

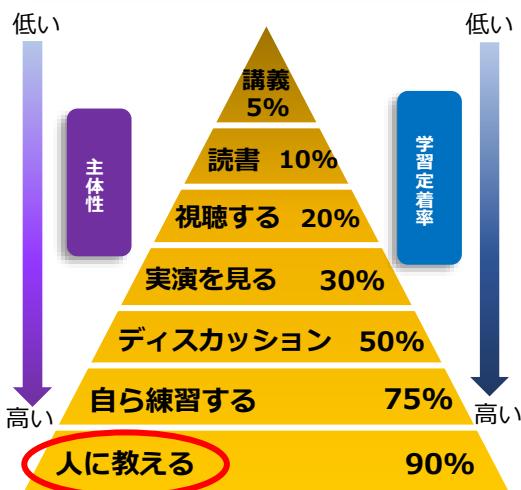


学年の枠を超えて、相互に学びを共有・サポート。下級生は身近なロールモデルからポジティブな影響を受け、上級生はリーダーシップスキルの向上にもつながります。

ユニット学習

平成 19 年度より本校に導入された 4 人 1 組で構成される『ユニット学習』は、宮の森中学校の協働的な学びの基盤。「お互いに教え

ラーニング・ピラミッド



合ったり」、「考え方を交流して深め合ったり」、「意見を出し合って合意形成を図ったり」と、目的に合わせて多様な協働学習が展開されます。



誰もが安心な環境で、

失敗体験が次の挑戦につながる「肯定的な学び」

学びの姿 2

生徒会活動

- 役員会
- 議長会
- 学年協議会
- 生活委員会
- 文化委員会
- 放送委員会
- 保体委員会



▶挑戦する勇気

挑戦する勇気は生涯必要で、個々に応じて育むことができる。この勇気を支えるのは、失敗していくこと、リトライが可能であること、周囲の応援が得られること、認められていることが土台となります。

★挑戦のベース★

認め合い、支え合う つながり

ソーシャルスキルトレーニングや、
考え方、議論する道徳の授業、特別
活動を通して、人と正しくつながる
方法を学ぶ

★挑戦のベース★

自己評価の視点

結果や他者との比較よりも、学
びの過程での挑戦や失敗、
自己の変化に着目

部活動

- 野球部
- サッカーチーム
- ソフトテニス部
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- 女子バレー部
- 美術部
- 科学部
- 吹奏楽部



文化系



★挑戦のベース★

リトライの機会

失敗を受け止め、
何度も挑戦する
機会を確保

生徒による自治的な活動の促進

- 生徒会行事である新入生歓迎会、陸上競技会、文化祭、卒業生を送る会は、生徒が主体で行います。多くの仲間たちとともに体を動かし心を通わせ、喜びや感動を分かち合う本物の体験に価値を見いだします。
- 学年集会は、「ただ集まって先生の話を聞く集会」ではなく、学年協議会の生徒が中心となり、日常の諸問題の解決に向けた提案や、仲間同士の連帯感が強まるようなレクチャーを企画するなど、工夫を凝らして自主運営します。

学びの姿 3

価値ある課題の継続的な探究に支えられた

「深みのある学び」

単なる知識や情報の受け取りではなく、自分が興味をもち、価値を感じる課題やテーマに対して、生徒一人一人の学びが深まる学習活動を、各教科の特質や宮の森地区の人的・地理的・文化的魅力を活かしながら支援します。また、小・中学校がつながり学び合いながら連続性をもって子どもたちを育みます。

課題探究型プログラム

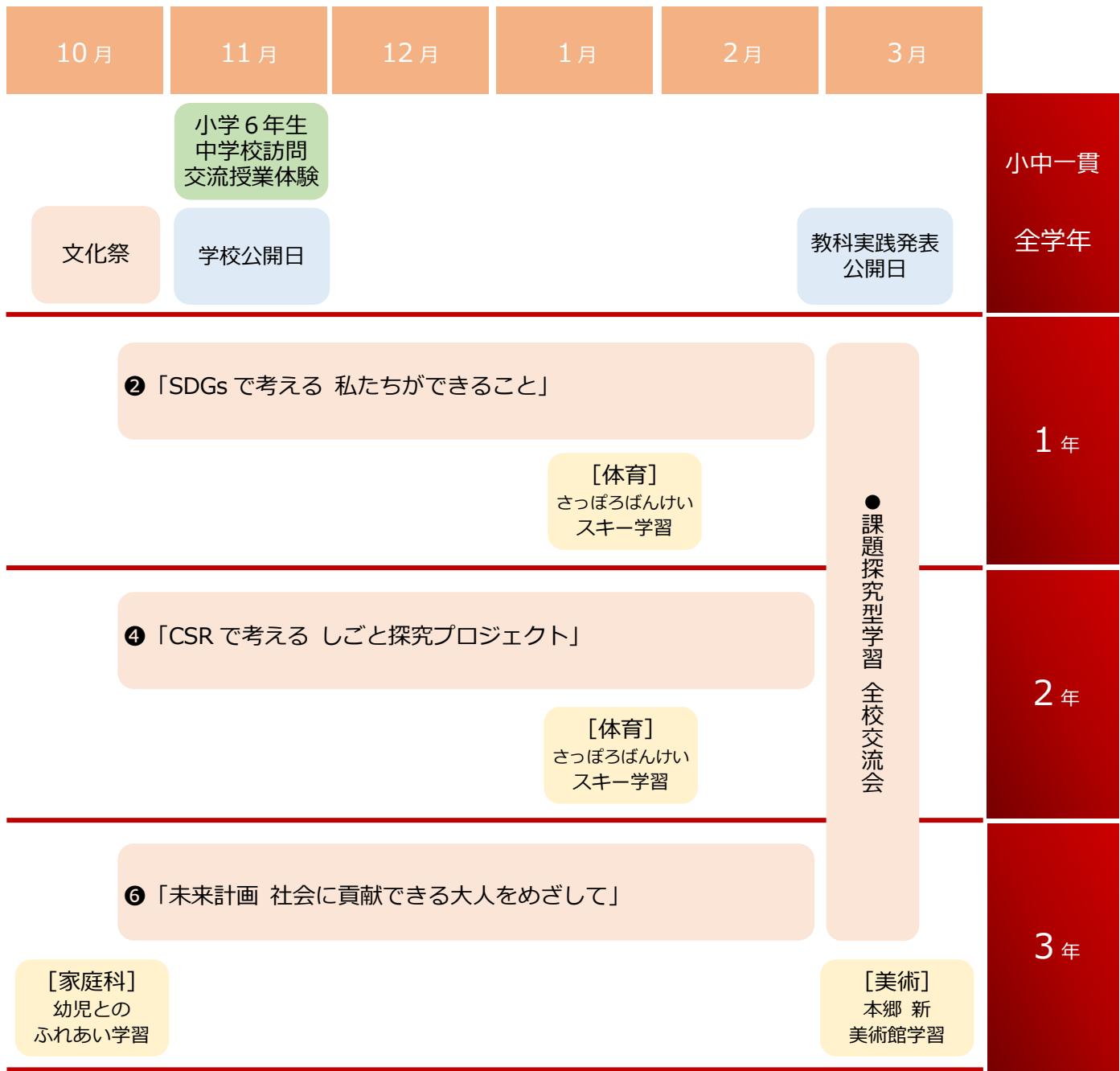
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
小中一貫 全学年			小中教師合同 研修会	中学校教師 小学校 出前授業	小学6年生 英検5級 チャレンジ	
1年	①校外学習：札幌 「サッポロ探Qプロジェクト」			[理科] 円山動物園学習	●プレゼン発表会	
2年	③宿泊学習：東川町・小樽 「SDGsで考える 地方創生プロジェクト」				●プレゼン発表会	[社会] 大倉山ジャンプ 競技場学習
3年	⑤修学旅行：東京・横浜 「CSRで考える ソーシャルビジネスプロジェクト」			[理科] 中垣哲也氏 オーロラ学習	●プレゼン発表会	



宮の森地区の人的・地理的・文化的特色を生かした学習

- ▶社会で活躍する保護者や卒業生をお招きし、「はたらく意義」をインタビュー [2年 総合]
- ▶地域在住のオーロラメッセンジャー中垣哲也氏によるオーロラ講演会 [3年 理科]
- ▶大倉山ジャンプ競技場展望台から札幌市の地形観察 [2年 社会科]
- ▶円山動物園でのセキツイ動物の分類学習 [1年 理科]
- ▶本郷新記念札幌彫刻美術館への訪問学習 [3年 美術科]

課題探究型プログラム



学びの姿 4

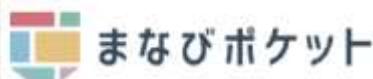
「わかる楽しさ」「できる喜び」

「創り出す面白さ」のある学び

特別支援教育・インクルーシブ教育

令和型の多様な学び

基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図り、生徒が分かる・できる喜びを実感できるよう、従来型の「一斉授業」に加え、「ペア学習」「ユニット学習」「個別学習」など、多様な学習形態で指導の充実を図ります。また、「学びのサポーター」による支援や生成AIなど「ICTを活用した学習」にも力を入れています。



Google Workspace

- 本校には発達に応じた支援ができる特別支援学級（5組）があります。
- 5組では、学年集会や行事等で通常学級の生徒と共同学習を行っています。
- 個々の状況に応じて、通常学級で授業を受けたり、通常学級の教師が5組で授業を行うなど、多様で柔軟な学習活動を行っています。



自由な発想で新しいアイディアや作品を生み出せ！

校内を創作物で埋めつくせ！

表現の場 「教科実践発表の日」

全校規模で、これまでの日常の学習活動の成果を発表！

- ビブリオバトル [全学年 国語科]
- 英語プレゼン発表 [全学年 英語科]
- 模擬裁判 [3年 社会科] ●ダンス発表会 [全学年 体育科]
- 5組作業製品即売会 [5組 作業学習]
- 旅行的行事プロジェクトプレゼン発表 [全学年 総合]
- 合唱交流会 [全学年 音楽科]



表現の場 「創作物の掲示」

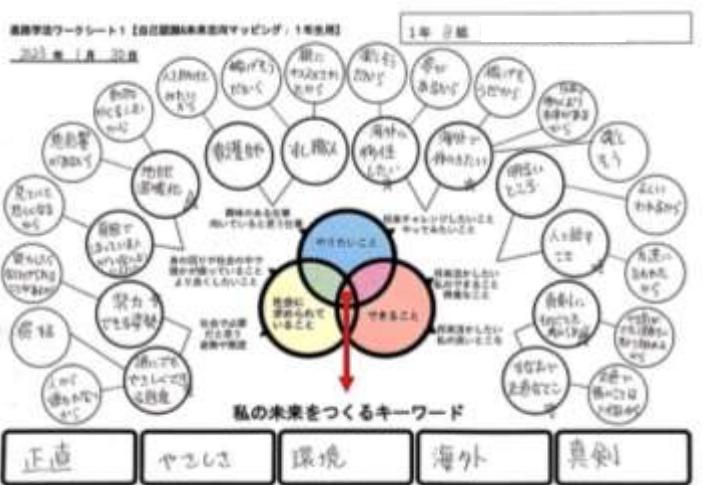
校内には常にレポートや作品など、生徒たちの創作物が掲示され、お互いに高め合い、伝え合う宮中文化を大切にしながら学校生活を送っています。



進路探究学習（キャリア教育）

進路学活 自己認識&未来志向マッピング

自分の興味・関心や長所などの個性を理解し、将来の生き方や働き方等を考えます。



学習自己評価・キャリアパスポート

学校行事や各教科の学習を、学期や単元のまとまりで振り返って自身の成長を自覚する機会とし、次の学びにつなげます。評価を他人まかせにせず、「**自分の評価は自分でできる力**」を身につけます。



自分自身の成長や変容を自己評価しながら

自分らしい生き方について考え続ける！

自主学習の時間

令和5年度採用 新標準服

令和5年度採用の新標準服は、生徒や保護者、地域の皆さんへのアンケート結果よりデザインを決定。胸のエンブレムは、当時の美術部員がデザインを手掛けました。

豊富なバリエーションで、その日の気分や天候に合わせて何をどう着るかは自分次第！



何を・何で・どう学ぶかは自分で決める！

学期ごとに5日間ずつある教育相談の待ち時間は「自主学習の時間」となる。誰かに与えられた課題をこなすのではなく、自分自身でどんなことを・何を使って・どう学習するかを決めて取り組み、その成果を振り返ります。



▶主体性を大切にした「自主学習の時間」

自分の興味・関心から、「はっきりさせたいこと」や「解決してみたいこと」を見いだして取り組む。「昆虫」について調査してスライドにまとめた事例や、「気象予報士」を目指した学習に挑戦した事例もあります。



年間行事



- ◆ 入学式
- ◆ 新入生歓迎会
- ◆ 生徒会認証式
- ◆ 学年懇親会

4

5

6

7

8

9

- ◆ 前期教育相談
- ◆ 生徒総会
- ◆ 薬物乱用防止教室
- ◆ 英検
- ◆ 3年修学旅行
- ◆ 1年校外学習
- ◆ 2年宿泊学習
- ◆ 中体連
- ◆ 情報モラル教室
- ◆ 3年オーラ学習

- ◆ 夏の教育相談
- ◆ 前期テスト
- ◆ 2年命の授業

- ◆ 1年助産師授業
- ◆ 陸上競技会
- ◆ 3年学力 A テスト
- ◆ 生徒会演説会
- ◆ 生徒会認証式
- ◆ 5組校外学習
- ◆ 教科実践発表の日





10

- ◆英検
- ◆3年進路懇談会
- ◆2年大倉山学習
- ◆3年学力Bテスト
- ◆文化祭



11

- ◆開校記念日
- ◆進路説明会
- ◆3年学力Cテスト
- ◆5組遠足
- ◆後期教育相談
- ◆学校公開日

12

- ◆期末懇談会
- ◆生徒会募金活動
- ◆新入生保護者説明会
- ◆冬休み

1

- ◆3年後期テスト
- ◆英検
- ◆スキー学習

2

3

- ◆私立入試
- ◆1・2年後期テスト
- ◆除雪ボランティア
- ◆5組卒業を祝う会
- ◆学年懇親会
- ◆公立入試
- ◆3年美術館学習
- ◆教科実践発表の日
- ◆探究学習全校交流会
- ◆卒業生を送る会
- ◆卒業式



▶ 5時間授業の日

5時間授業の日は、5時間目以降の時程が1時間繰り上がり、下校は14:50頃となります。
部活動の終了時刻は17:15です。



宮中生の一日

登校	8:10 - 8:25
朝読書・朝学活	8:30 - 8:45
1校時	8:50 - 9:40
2校時	9:50 - 10:40
3校時	10:50 - 11:40
4校時	11:50 - 12:40
給食	12:50 - 13:15
昼休み	13:15 - 13:30
5校時	13:35 - 14:25
6校時	14:35 - 15:25
帰り学活	15:30 - 15:35
清掃	15:35 - 15:45
下校	15:50頃
放課後活動	15:50 - 16:30
部活動終了	18:15



札幌市立宮の森中学校

〒064-0951 札幌市中央区宮の森1条16丁目5-1

TEL : 011-612-1147

HP : <https://www.miyanomori-j.sapporo-c.ed.jp>

